

第1回 これからのコミュニティ施策の基本的考え方多摩区区域レベル取組検討会結果概要

- 1 日 時 平成31年4月12日（金） 午後7時～9時
- 2 会 場 多摩区役所6階601会議室
- 3 出席者 委員19人、区役所職員3名
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 出席者の主な意見

【検討会のルールについて】

- 司会役と進行役が同じだとまずいのでは。進行は誰が行うか。
- 2回目以降は進行を輪番でやっていけばよいのではないか。
- 前回の会議録を全員に事前に送付をしてほしい。欠席者には当日配布された資料も送ってほしい。
- 5分ほどでも前の振り返りをしっかりして、皆が共通意識を持った上で進めてほしい。
- メール等で行われた質疑応答については、振り返りの時間の中で説明し、資料としても出してほしい。
- 質疑応答結果は、当日は結果の振り返り程度であればプロジェクタ投影でよいのではないか。
- 進め方は丁寧に、ゆっくり進めてほしい。
- テクニカルな面は行政に任せて、大きな流れや方向性、方針、運用などは委員で検討していけばよい。振り返りの部分も行政に任ず形で会議の最初にでも行えばよい。

【ソーシャルデザインセンターに係る参考事例について】

- 他都市のようにどこかの企業と話がついている、などということはあるのか。そうではなく、草の根でお金のところも自分たちで動いていく、ということになるのならハードルがかなり上がる。
- 助走期間は市からの補助があるとしても、何年後かには自主財源を稼ぐということではよいのか。
- 基本理念について共有すべき。共有の仕方をきちんと決めるのがよい。
- 去年から様々なワークショップを行っているが、課題の認識はできていないと思う。
- 2月16日ワークショップの内容が漠然としている、というのはその通りだと思うが、それをどうやって具体化するかが大事ではないのか。
- 先ほどから共通理解がされていない、という話があるが、それはここに集まっている人達が、お互いを信用していない、ということではないか。ソーシャルデザインセンターのイメージは皆がそれぞれ持っている。違いはあって当然。
- 皆の得意分野などを持ち寄って形にすれば、様々な人の困りごとなどにある程度対応できるのではないかと思う。
- 役所に案を求めるのはどうか。それをやってしまうとこの検討会の意味がないと思う。まずは自分たちでやっていかなければならない。

- 基本的考え方をしっかり読んだうえで参加しなくてはならないし、発言もしなくてはならない。そうでないと行きつ戻りつで上のステップに上がっていかない。
- 求められる機能の中に各区の特性に応じた機能というものもあるので、その具体的な議論を行うための資料は用意しておいてほしい。

- ◎ 次回検討会の司会進行をする委員を決定した。また、次回についてはテーマごとに分かれるのではなく、全体で進行することを確認した。
- ◎ 基本的考え方で示されている各機能に則り、具体的な検討を進めることを主眼とすることを確認した。
- ◎ 今後の検討会では、冒頭に前回の振り返りを行うことを確認した。

—次回検討会の日時等について—

- ⇒ 次回は、4月21日（日）午後2時から、区役所6階601会議室で開催する。